

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機構分類コード	人畜毒性	使用時期(回数)	使用回数	ベロ病	灰色かび病	灰斑病	黒とう病	苦腐病	晩腐病	さび病	芽枯病	白紋羽病	つる割病	うどんこ病	白腐病	枝膨病	すす点病	ゆめ促進
I Cボルドー66DFL	M1	-	-	◎				◎		◎	◎								
Zボルドー水	M1	-	-	◎		◎					◎								
クプロシールドFL	M1	-	-	◎															
コサイド3000DF	M1	-	-	◎							◎								
インプレッションクリア水	BM2	*i	-	◎															
エコショット顆水	BM2	1	-	◎											◎				
ボトキラー水	BM2	*i	-	◎															
ミギワ20FL	52	1	3	◎	◎	◎			◎										
トップジンM水㊟	1	45	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎				◎				
トップジンMペースト	1	*L *b	3						◎					◎					◎
ベンレート水㊟	1	45 *d	3 1	◎	◎	◎	◎	◎	◎		◎			◎			◎		
アフエットFL	7	7	3	◎	◎	◎			◎	◎					◎				
カナメFL	7	劇	1	3	◎	◎	◎			◎					◎				
カンタスDF	7	7	3	大														大	
ケンジャFL	7	7	3	◎	◎	◎									◎				
バシタック水75	7	45	1							◎									
パレード15FL	7	7	2	◎	◎	◎				◎					◎				
フルーツセイバーFL	7	7	3	◎	◎	◎			◎	◎					◎				
アミスター10FL	11	30	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎							◎		
スクレアFL	11	1	3	◎		◎			◎						◎				
ストロビーDF	11	14	3	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎					◎		◎		
ファンタジスタ顆水	11	14	3	◎		◎			◎	◎									
プリントFL25	11	*d	1					◎	◎										
オラクル顆水	21	14	3	◎															
ライメイFL	21	14	3	◎															
ランマンFL	21	14	3	◎															
フロンサイドSC	29	*a 21	1 1	◎	◎		◎		◎								◎		
フルピカFL	9	30	2	◎											◎				

ブ
ド
ウ

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機構 分類 コード	人 畜 毒 性	使用 時期 (日数)	使 用 回 数	ベ と か び 病	灰 色 斑 病	褐 斑 病	黒 と う 病	苦 腐 病	晩 腐 病	さ び 病	芽 枯 病	白 紋 羽 病	つ る 割 病	う どん こ 病	白 腐 病	枝 膨 病	す す 点 病	ゆ 合 促 進
セイビアーFL20	12		21	3	◎					◎						◎			
ロブラール水	2		*h	3	◎			◎									◎		
フジワン粒	6		*e	1									◎						
インダーFL	3		30	3	◎	◎	◎								◎				
オーシャイン水	3		7 30	2	◎		◎					◎			◎				
オーシャインFL	3		7	2	◎	◎	◎								◎				
オンリーワンFL	3		1	3	◎	◎	◎		◎	◎					◎	◎		◎	
トリフミン水	3		7	3		◎	◎								◎				
マネージDF	3		21	3				◎			◎				◎				
パスワード顆水	17		14	2	◎												◎		
ピクシオDF	17		1	3	◎														
ポリオキシシNAL水	19		60	5	◎														
ポリオキシシNAL溶	19		60	5	◎		◎								◎				
フェスティバル水	40		45 30	2 2	小 大														
レーバスFL	40		7	3	◎														
アリエッティ水	P7		30	3	◎														
キノンドーFL	M1		45	*o	◎			◎										◎	
ドキリンFL	M1		45	*o	◎			◎										◎	
ヨネボン乳	M1		*n	1				◎		◎									
ジマンダイセン水	M3		45	2	◎		◎	◎		◎	◎								
チオノックFL	M3		60	2	◎	◎	◎	◎		◎									
トレノックスFL	M3		60	2	◎	◎	◎	◎		◎									
ペンコゼブ水	M3		45	2	◎		◎	◎		◎	◎								
オーソサイド水80	M4		30	3	◎	◎	◎	◎		◎								◎	
パスポート顆水	M5		*d	1				◎		◎									
バフラン液25	M7	劇	*d 60	1 2			◎	◎		◎				◎				◎	
デランFL	M9	劇	*c *d	2 1	◎			◎		◎								◎	
スイッチ顆水	9・12		30	2	◎					◎				◎					

ブ
ド
ウ

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	ベ ロ ミ ル 病	灰 色 か び 病	褐 斑 病	黒 と う 病	苦 腐 病	晩 腐 病	さ び 病	芽 枯 病	白 紋 羽 病	つ る 割 病	う ど ん こ 病	白 腐 病	枝 膨 病	す す 点 病	ゆ 合 促 進
テーク水	3・M3		45	2	◎	◎				◎					◎				
ナリアWDG	7・11		7	3						大									
ジャストフィットFL	43・40		30	3	◎														
フォリオゴールドFL	4・M5		60	2	◎														
ゲッター水㊦	1・10		45	1		◎													
ラビライト水㊦	1・M3	*c	1							◎									
リドミルゴールドMZ顆水	4・M3		45	2	◎														
ホームイコート水㊦	1・M3	*d	1					◎		◎				◎			◎		
ホライズンDF	11・27		21	3	◎		◎	◎		◎									
フェスティバルC水	40・M1		45 30	2 2	小 大														
カーゼートPZ水	27・M3		45	2	◎														
カンパネラ水 ベネセット水	40・M3		45	2	◎			◎		◎									
ゾーバックエニベル顆水	49・M3		45	2	◎					◎									
フェスティバルM水	40・M3		45	2	◎														
ビオネクトFL	M1・-		*k 45	*o		◎		◎		◎				◎			◎		
アリエッティC水	P7・M4		30	3	◎	◎		◎		◎									
ザンプロDMFL	45・40		45 30	2 2	小 大														
ダイナモ顆水	21・27		21	3	◎														
ダイパワー水	M4・M7		60	2	◎			◎		◎									
ドーシャスFL	21・M5		60	3	◎			◎		◎									
ベトファイター顆水	40・27		30	3	◎														

㊦：チオファネートメチル含有剤 ◎：ベノミル含有剤 ㊦を使用した場合には同じ作での◎は使用しないこと。その逆も同様（種子への処理および塗布処理を除く、詳細はP.856 参照）。*a:開花直前～落弁期（但し収穫60日前まで） *b:休眠期（萌芽前） *c:落弁期まで（但し収穫75日前まで） *d:休眠期 *e:萌芽期まで *h:開花期～幼果期（但し収穫60日前まで） *i:発病前～発病初期 *k:休眠期～開花前 *L:剪定整枝時、病患部削り取り直後及び病枝切除後 *n:萌芽前 *o:4回以内（但し開花後は1回以内）
小:小粒種（デラウェア、シラガブドウ、やまぶどう）
大:大粒種（巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種他）

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒害 性	使用 時期 (日数)	使用 回数	ブ ド ウ 種 別	ア ザ ミ ウ ム シ マ	ア ブ ラ ム シ バ	フ タ テ ン ヒ メ ヨ コ バ	ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	コ ウ モ リ ガ	ス カ シ バ	ブ ド ウ ト リ バ	ハ ス モ ン ヨ ト	ハ マ キ ム シ 類	ケ ム シ 類	キン ケ ク チ ブ ト ソ ウ ム シ	コ ガ ネ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ダ ニ 類	サ ビ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫	
																								7
コロマイト水	6																						◎	
クムラス顆水	UN		*c	1																			◎	
サンクリスタル乳	—			1																			◎	
オリオン水40	1A	劇	45	1	◎				◎								も	◎						
サッチューコートS乳	1B		*b	2																				
スミチオン水40	1B		21 90	2 2	大 小			◎	ク			ス								成		ラ		ア
スミチオン乳	1B		21 90	2 2	大 小	◎	◎	◎	ク			ス	◎			◎				成		ラ		ア
ダイアジノン水34	1B	劇	30	2	大	◎		◎	ク			ス				◎								
マラソン乳	1B		7	6		◎			◎															
アーデントFL	3A		1	4		◎	◎		◎												◎			
アグロスリン水	3A	劇	21	5	大	◎		◎													◎			
アディオンFL	3A		7	5	大	◎		◎													◎			
アディオン水	3A		7	5	大	◎		◎										メ			◎			
スカウトFL	3A	劇	7	3	大	◎		◎								◎					◎			
テルスターFL	3A	劇	14	1	大	◎		◎																
テルスター水	3A		14	1	大	◎		◎																
バイスロイドEW	3A	劇	7	2	大	◎		◎													◎			
ロディー水	3A	劇	21	2	大	◎		◎																
ロビンフッドエアゾル	3A		1	5								◎	◎									◎		
アクタラ顆溶	4A		7	2	大	◎		◎		◎														
アドマイヤー顆水	4A	劇	*h	2	大	◎		◎		◎														
アルバリン顆溶	4A		1	3	大	◎		◎		◎														
スタークル顆溶			*e	1	3	大	◎		◎		◎													
ダントツ溶	4A		1	3	大	◎		◎		◎												◎		
バリアード顆水	4A	劇	21	2	大	◎		◎		◎														
ベストガード溶	4A		30	3	大	◎		◎		◎														
モスピラン顆溶	4A	劇	14 *a	3	大	◎		◎		◎											◎			ト
モスピラン粒	4A		14	3	大			ネ																
トランスフォームFL	4C		3	3	大	◎		◎																
ディアナWDG	5		1	2	大	◎																		
デリゲートWDG	5		1	2	大	◎																		
コルト顆水*	9B		1	3	大	◎			◎															
ニツラン水	10A		7	1	大																			◎
パロックFL	10B		7	1	大																			◎
オマイト水	12C		14 21	1 1	大 小																			カ カ
コテツFL	13	劇	60	2	大	◎		◎													◎			ナ
パダンSG溶	14	劇	21	5	大	◎		◎																ノ
カスケード乳	15		30	2	大	◎		◎																

ブ
ド
ウ

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

薬剤名	作用機 構分類 コード	人畜 毒性	使用 時期 (日数)	使用 回数	ブ ド ウ 種 別	ア ザ ミ ウ ム シ 類	ア ブ ラ ム シ 類	フ タ テ ン ヒ メ ヨ コ バ イ 類	ミ ド リ ヒ メ ヨ コ バ イ 類	カ イ ガ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	コ ウ モ リ ガ 類	ス カ シ バ 類	ブ ド ウ ト リ バ ウ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ 類	ハ マ キ ム シ 類	ケ ム シ 類	キン ケ ク チ ブ ト ゾ ウ ム シ 類	コ ガ ネ ム シ 類	カ ミ キ リ ム シ 類	ハ ダ ニ 類	サ ビ ダ ニ 類	そ の 他 害 虫	
アブロードFL	16		30	2				幼	幼															
ロムダンFL	18		1	2													◎							
カネマイトFL	20B		14	1																	◎			
マイトコーネFL	20D		21	1																	◎		サ	
サンマイト水	21A	劇	90	1	チ		◎														◎			
ダニトロンFL	21A		30	1																	◎		サ	
ピラニカ水	21A	劇	30	1	大																◎			
ダニゲッターFL	23		*f	1																	◎			
モベントFL	23		7	3	◎				◎												◎		サ	
スターマイトFL	25A		14	1																	◎			
ダニサラバFL	25A		1	2																	◎			ヒ
ダニオーテFL	25B		1	1																	◎			ヒ
ダニコングFL	25B		1	1																	◎			ヒ
エクシレルSE	28		1	3	◎								ビ		◎		◎		◎					モ
サムコルFL10	28		1	3									ビ		◎	◎	◎							モ
テッパン液	28		1	2	チ					◎		ビ		◎	◎	◎		◎						ホ
フェニックスFL	28		14	2								◎		◎	◎	◎								ホ
ヨーバルFL	28		7	2	チ							ビ			◎			◎						モツ
ウララDF	29		*d	2	チ					ツ														モツ
グレーシアFL	30		7	2	チ		◎								◎									サ
トラサイドA乳	1B・1B		*c	2																	ブ			
ミネクトエクストラSC	15・28		1	3	チ																			
アブロードエースFL	16・21A		30	1						◎														ハ

*:幼果期以降に使用する場合、果粉の溶脱を生じるおそれがあるので注意する。
 *a:収穫後秋期 *b:収穫後(10月)～萌芽前 *c:発芽前(休眠期) *d:開花前まで
 *e:幼果期まで(但し収穫30日前まで) *f:果実肥大期(大豆大期)～収穫前日 *g:開花期まで
 *h:収穫21日前まで(但し露地栽培については発芽期から開花期を除く)

ア:アカガネサルハムシ カ:カンザワハダニ ク:クワコナカイガラムシ
 ぐ:クワコナカイガラムシ若齢幼虫 コ:コナカイガラムシ類 サ:ブドウサビダニ
 さ:ブドウサビダニ及びブドウハモグリダニ ス:ブドウスカシバ
 チ:チャノキイロアザミウマ ツ:ツマグロアオカスミカメ ト:トビイロトラガ
 ナ:ナミハダニ及びカンザワハダニ ネ:ブドウネアブラムシ
 ノ:ミノガ類、モンキクロノメイガ及びトビイロイラガ ハ:ブドウハモグリダニ
 ヒ:ブドウヒメハダニ ビ:クビアカスカシバ プ:ブドウトラカミキリ
 ホ:ミノガ類、ホソオビツチイロノメイガ及びモンキクロノメイガ
 ミ:ミカンキイロアザミウマ及びチャノキイロアザミウマ メ:アメリカシロヒトリ
 モ:モンキクロノメイガ も:チャノココクモンハマキ ラ:トラカミキリムシ
 幼:幼虫 成:成虫 小:小粒種(デラウエア、シラガブドウ、やまぶどう)
 大:大粒種(巨峰系4倍体品種、2倍体米国系品種、2倍体欧州系品種、3倍体品種他)

ブ
ド
ウ

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	4月下旬～ 9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・落葉は集め処分する。 ・次の薬剤のいずれかを散布する。 <ul style="list-style-type: none"> アリエッティC水和剤 400～800倍 ジマンダイセン水和剤 1000倍 ホライズンドライフロアブル● 2500～5000倍 ランマンフロアブル● 1000～2000倍 リドミルゴールド MZ顆粒水和剤● 1000倍 	春と秋にてやすい。 ヨーロッパ系の品種は発病しやすい。 前年発生した園は開花前から予防散布する。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	灰色かび病	5月中旬(開花直前)～6月下旬(開花直後)	
褐斑病	休眠期	1. 落葉は集め処分する。 2. 次の薬剤を散布する。 ベフラン液剤25 250倍	5月頃雨が多いと多発する。デラウェア、キャンベル・アーリーなどの品種は弱い。
	5月上旬～中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 トップジンM水和剤⊕ 1000～2000倍 アミスター10フロアブル 1000倍	
黒とう病	休眠期(発芽前)	1. 枝、まきひげは除去する。 2. 発病新梢は除去する。 3. 次の薬剤のいずれかを散布する。 デランフロアブル 200倍 ベフラン液剤25 250倍 ベンレート水和剤⊖● 200～500倍	春先天候不順の年に発生多い。 一般にヨーロッパ系の品種が弱く、アメリカ系の品種は強い。 ●耐性菌を生じやすいので連用しない。
	5月上旬～6月中旬	・次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 アリエッティC水和剤 400～800倍 ジマンダイセン水和剤 1000倍 オーシャイン水和剤● 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 ロブラール水和剤● 1000倍	

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
晩腐病	休眠期	<ol style="list-style-type: none"> 1. 枝、まきひげは除去する。 2. 発病新梢は除去する。 3. 次の薬剤のいずれかを散布する。 ベフラン液剤25 250～500倍 パスポート顆粒水和剤 250～400倍 	<p>6月下旬から収穫期にかけ雨が多年に多発する。</p> <p>幼果期以降の散布は果実の汚れに注意する。</p> <p>●耐性菌を生じやすいので連用しない。</p>
	6月上旬～9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター10フロアブル 1000倍 アリエッティC水和剤 400～600倍 ストロビードライフロアブル 2000～3000倍 トップジンM水和剤⓪● 1000倍 ベンレート水和剤⓪● 2000～3000倍 	<p>⓪を使用した場合には同じ作での⓪は使用しないこと、その逆も同様(種子への処理および塗布処理を除く、詳細はp. 856参照)。</p>
さび病		<ol style="list-style-type: none"> 1. 落葉は集め処分する。 2. 発生圃は冬期中に中耕する。 	<p>梅雨あけから晴天が続くと発生しやすい。</p>
	6月上旬～9月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 バシタック水和剤75 1000倍 ストロビードライフロアブル 3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 	<p>●耐性菌を生じやすいので連用しない。</p>
うどんこ病	新梢伸長期以降	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次の薬剤のいずれかを散布する。 トリフミン水和剤● 2000～3000倍 マネージDF● 4000～6000倍 	<p>春と秋に発生しやすい。</p> <p>●耐性菌を生じやすいので連用しない。</p>
ブドウえそ果病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> ・ 媒介虫であるハモグリダニを防除する。 	<p>発病葉は緑色濃淡が明瞭なモザイク症状を現す。</p>
ブドウえそ果ウイルス(GINV)		<ul style="list-style-type: none"> ・ 感染拡大を防止するため、感染が確定した樹は伐採し未感染の苗木に切り替える。 	<p>主に巨峰系のブドウ品種で発病しやすい。</p>

ブドウ(果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アブラムシ類	生育期	・次の薬剤のいずれかを散布する。 スミチオン乳剤#1 1000～2000倍 ダイアジノン水和剤34#2 1000～1500倍	#1大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 #2大粒種のみ
ブドウネアブラムシ	生育期	1. 抵抗性台木による接木栽培を行う。 2. 次の薬剤を散布する。 モスピラン粒剤(散布) # 30g/m ² (6kg/10a以下)	# 樹冠下または主幹周辺に散布する。
フタテンヒメヨコバイ	5月下旬(開花前)・ 6月上旬(落弁後)	1. 不要な副梢を摘み取り、園の通風と採光をよくする。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アグロスリン水和剤 1000～2000倍 サンマイト水和剤 1000倍 スミチオン水和剤40#1 800～1000倍 パダンSG水溶剤#2 1500倍 ベストガード水溶剤 1000倍	#1大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 #2大粒種のみ
カイガラムシ類	3月中旬(発芽前)	・次の薬剤を散布する。 石灰硫黄合剤* 7～10倍	*落葉果樹での登録商品により登録が異なるので注意。
クワコナカイガラムシ	5月上旬(開花前)	・次の薬剤のいずれかを散布する。 トランスフォームフロアブル#1 1000～2000倍 スミチオン水和剤40#2 800～1200倍 ダイアジノン水和剤34#3 1000～1500倍	#1カイガラムシ類での登録 #2大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 #3大粒種のみ、若齢幼虫に適用。
チャノキイロアザミウマ	6月上旬～下旬	1. 発生源となるので不要な副梢は早めに剪定する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオンフロアブル#1 1000～2000倍 アドマイヤー顆粒水和剤#2*a 5000～10000倍 コテツフロアブル 2000～4000倍 モスピラン顆粒水溶剤#2 2000～4000倍 ロディー水和剤 2000倍 モベントフロアブル#2 2000倍	チャヤイヌマキなどが寄主植物である。 開花前および落弁後約1か月間の防除が重要。 #1大粒種のみ #2アザミウマ類での登録 *a露地栽培については発芽期から開花期を除く

ブドウ (果樹類、落葉果樹の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
アメリカシロヒトリ	生育期	1. 若齢幼虫期には、巣網を作って集団でいるので枝ごと処分する。 2. 幼虫発生期に次の薬剤を散布する。 アディオン水和剤 2000倍	幼虫は5月下旬～6月下旬と8月中旬～9月中旬の年2回発生する。
コガネムシ類	7月上旬	1. 成虫の活動が鈍い早朝に棚を揺すって落下した成虫を捕殺する。 2. 発生を見たら次の薬剤のいずれかを散布する。 アディオンフロアブル#1 1500倍 エクシレルSE 5000倍 スミチオン水和剤40#2 800～1000倍 モスピラン顆粒水溶剤#3 2000～4000倍	#1大粒種のみ #2成虫での登録 大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。 #3成虫での登録
ブドウトラカミキリ	10月下旬～3月中旬(休眠期)	・ 次の薬剤を散布する。 トラサイドA乳剤 200～300倍	山林に接した園で発生が多い。 # 大粒種と小粒種では使用時期が異なるので注意すること。
	10月上旬(成虫発生終期)	1. 剪定枝を放置すると発生源となるので処分する。食入痕を見つけたら幼虫を刺殺する。 2. 次の薬剤を散布する。 スミチオン水和剤40 # 800～1000倍	
ハダニ類	生育期	1. 発生源となるので下草管理を徹底する。 2. 次の薬剤のいずれかを散布する。 アーデントフロアブル 2000倍 サンマイト水和剤 1000～1500倍 ダニトロンフロアブル 1000～2000倍 バロックフロアブル 2000倍 マイトコーネフロアブル 1000～1500倍 モベントフロアブル 2000倍	薬剤抵抗性がつきやすいので同一薬剤の連用をしない。

